

# ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第15号 平成22年 6月7日

深沢今期3人目の猛打賞！ 哲也・浅沼がマルチを記録

山田好リードが深沢の今期初勝利を呼んだ！



6 / 6 (日) 7年ぶりの潮田公園野球場に向き、K-ブルズとオープン戦を行った。このグラウンドは、過去、会社のレクで頑張りすぎたM社の役員が3塁上で、骨折をした曰く着きのグラウンドであったが、今日はこのグラウンド周辺は、狂気の乱舞と化していた。目の前にある、潮田神社の例大祭で、出店・神輿・はたまた、外野後方での喧嘩をよそめにゲームは始まった。今日の先発は、今期初マウンドの深沢、ローテーションの谷間なだけに、何とか持ちこたえ、後続に任せたい意気込みで、目標は、四球は1/回という目標も持って、マウンドに上がった。その初回の相手攻撃、深沢の初球はボールから、そして何といきなりの3ボールで早くも目標を逸するかと思ったその先、捕手の「腕振って！」の声に勇気付けられ、先頭打者を空振り三振に打ち取り、これで、気を良くしたのか、後続2人を三ゴロに打ち取り、立ち上りを無事乗り切った。その裏の我ががチームの攻撃。2番打者の打球は、平凡な三塁ゴロ、これを相手三塁手が送球エラー、この間に、一挙セカンドまで打者走者は進塁。そしてこの場面に、3番深沢、4球目を右に運び、打球はライト後方、一挙に三塁を目指したが、久々の長打で、ペーランを忘れてしまったらしく、何と2塁ベースに歩幅が合わず、よろよろサードを目指したが、結局3塁上タッチアウト、この回は、1点止りとなった。投手深沢の今日の最大の見せ場は、翌2回に訪れた。先頭に左越2を喫し、初のスコアリングポジションにランナーを背負った。続く打者には、四球、続く打者には三遊間を破られ、無死満塁の状態、野手のエラーで1点を献上したものの、後続三者を三振に打ち取り、最小失点の1点にて、このピンチを乗り切った。そして、ピンチの後にはチャンスありが、野球のセオリー、二死を取られた後、四球を2つ選び、二死満塁の場面に、またもや深沢、「気持ちちは右」で望んだ5球目をまたもやライト後方に運び、走者一掃の2ベースで、今日のゲームを決めたかに見えた。しかし、4回にピンチが・・・ 安打2つと四球で、またもや無死満塁、投飛で一死を得たが、後続に中前に運ばれ1点、続く打者の場面でPBにて2点目、3点目を覚悟した左前安を何とレフトの体の硬さが、ボールに届かず、後逸、打球は転々とフェンスへ。これで一挙5点を献上し、振出同点となってしまった。しかし、今日の打線は、焦りが無かった。4回に2点、5回に5点を奪取し、終わってみれば、二桁得点で解消した。若干のエラーは有ったが、捕手を中心に、チーム一丸で勝利を目指す姿勢が感じられた。この良い雰囲気、今週末に控える2試合の公式戦に望みたいものである。それにしても、外野のトンネル・後逸は絶対にやっては、いけないね。捕球してから投げるのが基本だからね！ # 2 8 . . .